



学校便り 2月号

かけはし

薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008
発行 令和5年2月21日 責任者 校長 永野 俊也

学校HP



学校ブログ



里周辺海水温
19℃(2/18)

学校文集「たまいし」と椋鳩十賞

創立150周年記念誌編纂最終段階へ

校長 永野 俊也

2月7日嬉しいニュースが入ってきました。里小学校が南日本作文コンクールで、椋鳩十賞（学校賞）を受賞しました。椋鳩十賞は、ユニークな作品が目立つ小規模校に贈られるもので、昨年受賞した奨励賞（学校賞）と違い、県下で1校のみ選出されるものです。

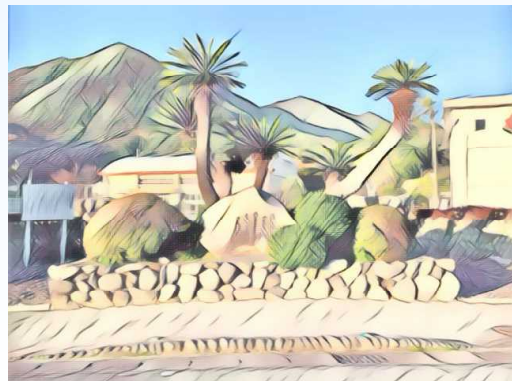
里小で過ごしている子供たちの日々の目線で書かれた文章が、多くの方の心を捉えて評価されたと思うと、とても嬉しい気持ちでいっぱいになります。現在、学校文集「たまいし」の今年度分の編纂が進んでいますが、それに目を通すと、今回入賞した子供たちばかりではなく、他の子供たちの作品も勝るとも劣らないものが並んでいます。先生方の指導のほか、この里地域が育んできた文化と、甌島ならではの体験が、よき感性に磨きをかけてくれていると思いました。

2年越しとなった創立150周年記念誌も、ようやく主だった文章の入稿が完了し、あとは校正作業を残すのみとなりました。記念誌執筆当初、コロナ禍ということもあり、学校外に多くの方へ原稿を依頼したり、集まって編集会議を重ねることができずにいました。また、思いのほか、学校に卒業アルバムをはじめとした写真が残っていないことが悩みの種でしたが、しばらくして学校に残っている財産とも言える存在に気づきました。それが図書室に保管されていた昭和40年代から残る学校文集（詩文集）「たまいし」です。それらに目を通すと、保護者の世代から、脈々と豊かな感性が継承されているということがわかります。また、そこにある素直な子供の目線で描かれた、里や学校の当時の姿は、微笑ましくもリアルに今にその様子を伝えてくれています。こうして、学校沿革史の大半は、当時の小学生の力を借りて、「たまいし」に残る文章を頼りに編纂されました。掲載された方は、小学時代の文章が再び形をかえて世に出ることになります。気恥ずかしさを感じるかもしれませんが、どうか里小の歴史の水先案内人として、ご協力をお願いいたします。

また、第3章の「里の歴史と文化」編では、私自身が素朴に疑問に思ったことが、歴史をたどりながら解き明かされていきます。例えば、近いところでは、県の無形民族文化財に指定されている八幡神社の内侍舞や直会は、なぜ里だけ継承できているのか？ また、現在に至っても里は、柔道や剣道など、人口比に対して明らかに優秀な人材を排出している、そのもとになった文化は何なのか？なぜ、九州各都市を爆撃に向かう際、B-29は、一旦甌島に向かう必要があったのか等々、遠いところでは、地球誕生46億年の地球史の中で、甌島に見られる恐竜は、どの位置にあり、人類や日本列島、甌島の誕生はいつなのか？ 全てを俯瞰し捉えられるよう工夫しています。1月号に書いた通り、里には、

貴重な歴史と文化を伝える文献が多く残っていますから、角度をかえて、新たな視点で、親子で楽しく読めるものになるよう心がけました。なんと今年度内に発行し、令和3年度のP戸と、各地域の公民館や図書館に配布したいと思います。発行まで今しばらくお待ちください。

令和6年度から7年度に向け、中学校の閉校や再編、幼稚園の統合など、多くの問題が今年度投げかけられました。今後注目していかなければなりません。これからも、里小学校のよさを、全世界に向け発信し続け、次の創立200周年をみんなで見守られるよう努力を継続していきます♪



頑張りました!校内縄跳び大会

1月24日（火）は、下学年と上学年に分かれて、校内縄跳び大会がありました。子供たちは、これまで練習してきた様々な技に取り組み、自己記録に挑戦しました。保護者の方々に前にして、これまで、朝の時間や体育の時間に努力してきた成果を発揮しようと、みんなが真剣に、集中して取り組むことができました。保護者の方々におかれましては、寒い中応援いただき、有り難うございました。



新型コロナウイルス感染症については、やや減少傾向にありますが、今年度の里幼小中教職員送別会も、開催中止といたします。また、令和5年度教職員歓迎会については、3月の状況を見て判断し、お知らせいたします。よろしくお願いいたします。

3月行事

- 1日（水）委員会活動（反省）
- 2日（木）卒業式練習
学級PTA
- 3日（金）6年生を送る会
- 8日（水）卒業式練習
委員会活動（編成）
- 9日（木）かのこゆり号来校（返却）
- 11日（土）土曜授業日
シェイクアウト訓練
- 15日（水）卒業式予行練習
- 20日（月）卒業式準備
- 21日（火）春分の日
- 22日（水）卒業式練習
- 23日（木）第76回卒業式
- 24日（金）修了式 離任式

※ 上記日程は予定なので、今後変更の可能性もあります。



南日本作文コンクール 学校賞（椋鳩十賞）受賞!

今年度の南日本作文コンクールで、学校賞（椋鳩十賞）を受賞しました。入選は下記の通りです。

- 1年 橋口 心咲
- 3年 池田 妃寿
- 4年 塩田 柚希
- 6年 西川 妃華



